

様式 2

男女共同参画基本計画に関する施策の評価等について

(分野名) 多様な選択を可能にする能力開発・生涯学習施策について

(施策名) 2.女性のライフステージごとのニーズに即した能力開発・生涯学習施策

1 主な施策の取組状況及び評価

文部科学省では、女性のライフステージごとのニーズに即した能力開発・生涯学習施策について、以下の取組を実施している。

○ 就業・起業や地域活動への参画につながる能力開発・生涯学習の実施

〈科学技術等の分野に対して〉

- ・科学技術分野で活躍する女性研究者・技術者、大学生等と女子中高生の交流の機会の提供等、女子中高生の理系進路選択支援を行うため、「女子中高生の理系進路選択支援事業」を実施。(平成 18 年度～)

- ・独立行政法人国立女性教育会館において、日本学術会議「科学と社会委員会 科学力増進分科会」等との共催で、科学技術分野への進路選択を支援する事を目的に、「女子高校生夏の学校」(平成 18 年度～平成 19 年度)、「女子中高生夏の学校」を実施。(平成 20 年度～)

【参加者実績】

「女子中高生夏の学校 2008」 女子中高生 110 名

「女子中高生夏の学校 2009」 女子中高生 108 名、保護者・教員 33 名

- ・独立行政法人国立女性教育会館「女性のキャリア形成支援サイト」において、研究者・技術者、NPO リーダーなど多様な女性のロールモデル事例等を提供。(平成 17 年度～)

〈NPO や地域活動等に対して〉

- ・団塊世代や高齢者等が教育サポーターとして活躍するための調査研究等を実施。(平成 20 年度)

- ・「地域ボランティア活動支援センターの在り方に関する特別調査研究」事業において、ボランティア活動希望者と受け入れ先との効果的なマッチング方法や関係機関・団体等との連携方策など、各地域のボランティア活動支援センターの体制整備について調査研究を実施。(平成 20 年度～)

- ・地域の司書有資格者を図書館ボランティアの中心的な存在としてその能力を活用する図書館における「地域の知の拠点」支援事業を実施。(平成 21 年度～)

- ・独立行政法人国立女性教育会館において、NPO など地域活動への女性のチャレンジに対する支援や、地域における次世代育成支援活動への男性の参加促進など、地域の活性化を図り、男女がともに活躍できる方策を検討するための「地域活性化に向けた男女共同参画推進に関する調査研究」を実施。その成果等を活用して、家庭教育・次世代育成支援・子育て支援関係者等を対象とした「家庭教育・次世代育成支援指導者研修」を実施。(平成 20 年度～)

- ・独立行政法人国立女性教育会館において、女性のキャリア形成の場として新たな可能性を持っているNPO活動に着目し、その実態と女性の社会活動の支援方策を検討するための「女性のキャリア形成のためのプログラムに関する調査研究」を実施。その成果等を活用して、女性関連施設等のキャリア形成支援者等を対象に「女性のキャリア形成支援推進研修」を実施。(平成 18 年～)

- ・独立行政法人国立女性教育会館「女性のキャリア形成支援サイト」において、研究者・技術者、

様式 2

NPO リーダーなど多様な女性のロールモデル事例等を提供。(平成 17 年度～)

○ 子育て等による就業中断期の存在も考慮した能力開発・生涯学習の実施

・「再チャレンジのための学習支援システムの構築」等において、出産・育児後の女性等を対象に、身近な場所で再チャレンジのための学習機会の提供などを実施。(平成 19 年度～)

・「専修学校を活用した再チャレンジ支援事業（女性の再チャレンジ支援プログラム）（平成 20 年度）」及び「専修学校を活用した就業能力向上支援事業（平成 21 年度～）」において、子育てにより一旦就業を中断した女性等を対象とした再就職等に必要な知識・技能習得に資する教育プログラムを実施。

・「男女共同参画社会に向けた教育・学習支援に係る特別調査研究」において、女性のライフプランニングに関する意識形成等を促す学習プログラム開発の課題を検討。また、女性のライフプランニング支援総合推進事業において女性のライフプランニング支援の体制整備を実施。
(平成 19 年度～)

・独立行政法人国立女性教育会館で、女性の生涯にわたるキャリア形成を支援するため、再チャレンジを含む女性のキャリア形成支援に必要な学習内容・学習方法を調査研究する「女性のキャリア形成支援のためのプログラムに関する調査研究」を実施。その成果等を活用して、女性関連施設等のキャリア形成支援者等を対象に「女性のキャリア形成支援推進研修」を実施。(平成 18 年度～)

・放送大学においては、テレビ・ラジオ放送メディアを効果的に活用し、誰もがいつでもどこでも学習できる柔軟な大学教育の機会を提供している。

2 今後の方向性、検討課題等

これまでの施策の取組状況及び現状分析より、以下の通り今後の方向性及び検討課題を抽出する。

・男女共同参画の更なる推進のために、独立行政法人国立女性教育会館において、地域における男女共同参画の推進を担うリーダーの育成、男女共同参画に係る調査研究の実施、国内外の男女共同参画に係る情報収集・提供等の役割を引き続き担う。

・各ライフステージの女性が、長期的な視点で自らの人生設計を行い、将来の見通しを持ち、人生の各段階において自らの能力を開発できるような女性のライフプランニング支援の充実を図る。

3 参考データ、関連政策評価等

※ 参考データ等は「1. 主な施策の取組状況及び評価」の中で記載